

白石市「道の駅、スポーツ・レクリエーション拠点」整備事業 基礎情報

1. 本事業の目的

本事業地は令和2年10月に事業化した(仮称)白石中央スマートインターチェンジに隣接しており、道の駅とスポーツ・レクリエーション拠点を一体的に整備・運営を行い、新たな観光拠点として交流人口の拡大や既存の観光施設と連携した周遊ルート形成など観光産業の活性化を図るとともに、市民の健康増進を図ることを目的とする。

また、白石市の総合計画において、市の防災拠点として新たな道の駅とスポーツ・レクリエーション拠点を位置付けており、災害時の拠点としての活用を目的とする。

2. 民間意向調査の目的

本事業の目的を達成するため、事業コンセプトや導入施設について民間事業者が有する柔軟なアイデアを取り入れることを目的とし、民間意向調査を実施する。

また、道の駅、スポーツ・レクリエーション施設等の整備・運営を担う民間事業者の視点より、本事業の実現可能性を調査・検討することを目的とする。

図. (仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺計画の機能イメージ

(1) 優位性を活かした新たな「工業団地」

・若年世代や働き盛り世代の雇用の場を確保し、産業の活性化を促進する工業施設の集積

(2) 新たな機能を備えた「道の駅」

・交通拠点としての立地環境を活かした「南東北のへそ」、「県南の玄関口」の道の駅、観光交流拠点

・激甚化している災害に対応する災害復旧拠点と災害発生時の避難所運営を支援する防災拠点

・公民連携により地域課題を解決する地域センター（子育て応援や買い物弱者の応援施設、あらゆる世代が道の駅で活躍する環境の提供）

(3) 心と体の健康を増進する スポーツ・レクリエーション拠点

・世代間交流を実現するスポーツ・レクリエーション拠点

・キャンプやパークゴルフなど多目的に利用できる多目的スペース

民間意向調査の対象範囲

表. 現時点における導入機能案(庁内検討段階)

施設メニュー分類		整備効果・メリット	課題
新たな機能を備えた「道の駅」	「道の駅」	<ul style="list-style-type: none"> 交流人口拡大、消費拡大 地場産品販路拡大 6次産業化の促進 広域観光拠点化 災害復旧拠点、避難所支援拠点 災害時一時避難所機能 	<ul style="list-style-type: none"> おもしろい市場との差別化 指定管理者制度による受託者、プレイヤーの確保
	地域課題を解決する拠点	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子育て世代のサポート等をコミュニティビジネスとして解決 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ニーズの把握 まちづくり活動団体や学校とのタイアップの可能性検討
	日帰り温泉宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> 交流人口拡大 工業団地出張者の宿泊 災害避難者支援 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌先温泉、小原温泉等、多くの温泉・宿泊施設があり差別化が必要
	簡易レジャー施設	<ul style="list-style-type: none"> ドッグランや子供遊具など小規模な施設は人のアクセス性が高い道の駅エリアに併設する 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅エリアに併設される規模・内容で検討
心と体の健康を増進するスポーツ・レクリエーション拠点	パークゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> 愛好者の増加による交流人口増加 健康増進や医療費抑制効果が期待 	<ul style="list-style-type: none"> 整備費用の確保と運営費用の捻出 ※ゲートボール場は高齢者の健康維持等効果があるが競技人口が大幅な減少
	防災拠点	<ul style="list-style-type: none"> 災害復旧拠点、避難所支援拠点 災害時一時避難所機能・自衛隊など駐留拠点 	<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点として道の駅と連携及び機能分配
	運動施設	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ振興 新たなスポーツ需要に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 既存公園運動場や学校施設との差別化 既存施設の改修との比較検討
	レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場やバーベキューなど炊事場等を含むアウトドア施設 多種多様な利用が可能な芝生広場 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少傾向における既存施設利用状況やニーズの把握

⇒ コンセプト、導入施設等について、民間事業者が有する柔軟なアイデアを取り入れたい

4. 事業地条件、事業地の位置

地勢	<ul style="list-style-type: none"> ・調査検討エリアは、西から東に向けて低い地形 ・ほとんどが農地、国道4号沿いおよび北側には集落が存在
インフラ状況	<ul style="list-style-type: none"> ・道路：西側～南側に国道4号および東北縦貫自動車道 ・鉄道：東側にJR新幹線およびJR東北本線（駅まで2～3km） ・上下水道：計画地の北側に上下水道（いずれもφ250）有り ・バス路線：白石市民バス越河線近接して4箇所バス停有り
土地利用法規制	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画地は非線引き都市計画区域内に位置し、都市計画法の開発許可が必要となるほか、各種法令に基づく諸手続きが必要となる ・埋蔵文化財包蔵地：届出・発掘調査等 ・農業振興地域・農地：農振除外申請、農地転用許可申請等 ・地域森林計画対象民有林：林地開発許可申請、伐採届出等 ・土砂災害警戒区域：開発行為許可申請等（土砂災害防止法） ・屋外広告物第2種禁止地域：協議・申請等
災害危険箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定区域：浸水履歴無し ・土砂災害危険箇所：調査検討エリアは範囲外。工業用地はR4、E4、東北新幹線に囲まれた南部の範囲に一部土石流危険区域を含む

